

通販・EC市場、13兆円規模へ

JADMA「2023年度通販市場売上高調査」

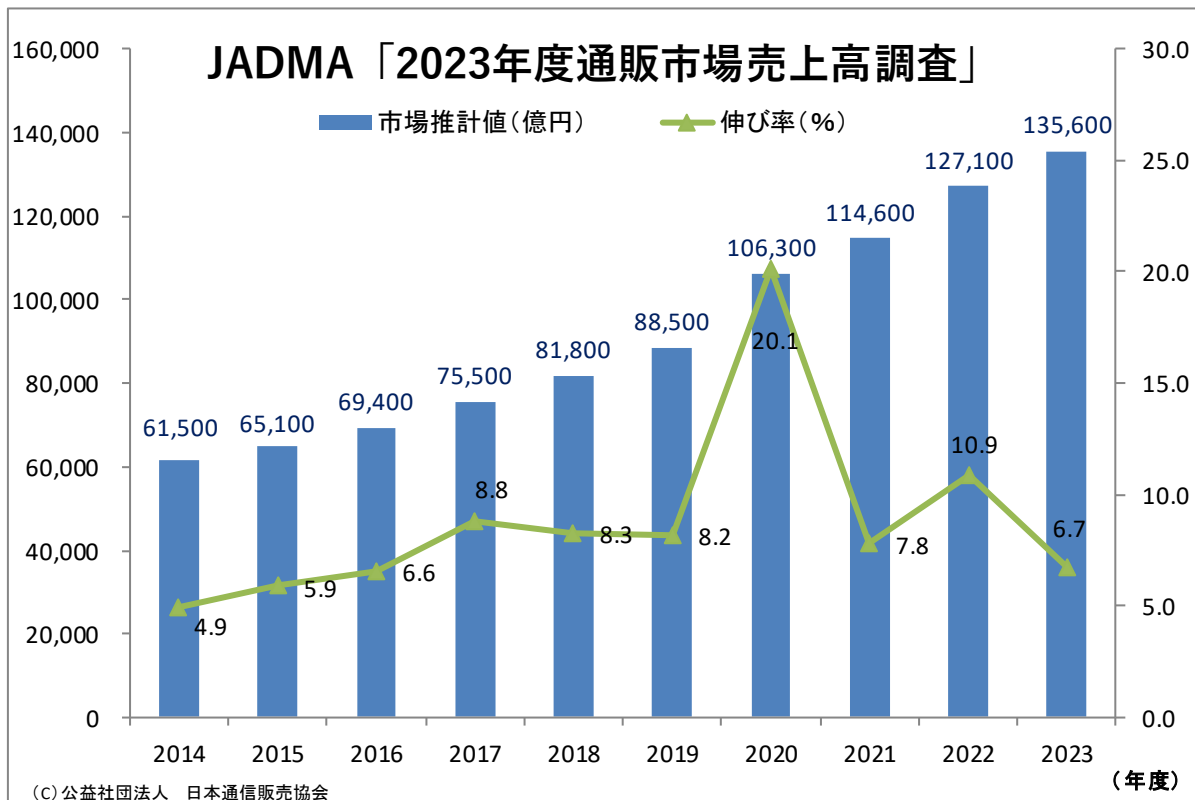
前年比6.7%増 コロナ前水準で堅調に推移

公益社団法人 日本通信販売協会（略称＝JADMA、梶原健司会長、正会員417社：8月27日現在）では、2023年度（2023年4月～2024年3月）の通信販売（EC含む）市場の売上高について調査を行い、このほど速報値がまとまりました。

調査結果によると、2023年度の通販の売上高は、前年比6.7%増の13兆5,600億円となり、金額ベースでは前年に比べ8,500億円の増加となりました。

アフターコロナを経て、店舗販売やインバウンド需要などが回復を見せ始めるなか、物価高騰の影響などもあり、昨年度の10.9%には届かないものの、例年度並みの6.7%の伸び率となりました。直近10年の平均成長率は8.8%と、マイナス成長を記録した1998年度以来、25年連続して増加傾向が続いています。

通販・EC市場の傾向として、BtoBやモール系が堅調であること、商材では食料品（健康食品を含む）、雑貨が比較的好調であることが挙げられます。



■2023年度通信販売市場調査の概要について

- 通販市場の売上高は、会員情報に加えて、当協会会員 416 社（調査時点）を対象に実施した「第 42 回通信販売企業実態調査」から得た回答の売上部分を先行集計した結果と、各種調査から推計できる有力非会員 370 社の売上を加えて算出しております。
(調査期間：2024 年 7 月 2 日～8 月 19 日)
- 推計値は、衣料品や雑貨、化粧品、健康食品などの物販が中心となります。
- 本年 11 月に商品別や媒体別などを分析したレポートを「第 42 回通信販売企業実態調査報告書」として刊行予定です。

--本件に関するお問合せ先--

公益社団法人日本通信販売協会 事務局

担当：三浦・渡辺・小川

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 3-2 リブラビル 2 階

TEL：03-5651-1155 FAX：03-5651-1199